

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-33

学校名・団体名	永平寺町志比小学校
HPアドレス	http://www.town.eiheiji.fukui.jp/shihi/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	郷土九頭竜川中流域の魚類と河川環境モニタリング
〈活動・研究の意義、目的〉 永平寺町志比小学校の敷地に沿うように一級河川である九頭竜川が流れている。本校が位置する中流域は、魚種も豊富でカジカの仲間のアラレガコ（和名：カマキリ）が生息しており、昭和10年に国の天然記念物に指定されている。当時の子ども達は、遊びを通して九頭竜川の豊かな自然と多様な生き物と触れ合い、今日までその貴重な自然と河川環境を守りながら、次の世代の子ども達に引き継ごうとしている。しかし、近年の環境破壊は急速に進行しており、九頭竜川の環境保全に取り組む新たな人材の育成は、喫緊の課題となっている。この地元の要請に答え未来の有能な人材を育成するため、地元大学やNPOとの連携を図り本校児童生徒の社会・理科教育の一環として九頭竜川の水質調査や魚等の生き物の日常的な調査を通して、地域の環境を考え保全活動の新たなる展開を図りたいと考えた。	

1. 取り組み方法

目的を達成するために、大きく以下の3つの視点から取り組むこととした。

- ・河川環境の現状を知る取り組み
- ・川の生き物（主に魚類）を保護する取り組み
- ・食（魚料理）体験・漁法見学など文化再生の取り組み

最後の食体験については、河川環境が良好で人とその他の生き物の共存が可能な時に、人々が自然の恵みがありたくてきてきたことを知るとともに、自然の恵みを今後ともいただくためには、自然環境に関心を持ち、大切にしていかなければならないという心情を育むために大切であるという思いで行ったものである。

2. 河川環境の現状を知る取り組み

本校裏手を流れる九頭竜川の環境的な現状を知るために、川の水質や魚類の種類調査等を行った。

- ①九頭竜川に住む魚類調査…九頭竜川の支流である光明寺川、時能川、永平寺川で調査を行い、27種あまりの魚類を採集できた。採集した魚類は、九頭竜川淡水魚水族館として学校で飼育した。また、秋にはシロザケの遡上なども観察できた。九頭竜川の魚種の豊富さを感じることができた。
- ②水質調査・水生生物調査…九頭竜川の水質検査や水生昆虫採集を通して水質を調べる取り組みを行った。また、下水処理施設の見学などを通して、川の水をきれいに保つ取り組みとその仕組みについても学んだ。
- ③過去の九頭竜川の魚調査…児童、その父母、祖父母の3世代にわたって、魚を通しての九頭竜川との関わりについてアンケート調査した。予想通り父母の世代ほど、天然記念物のアラレガコ知識や捕まえたことのある魚種の数、家庭などで飼育していた魚類の種類・数が多い傾向が見られた。児童にとっては、今よりも昔の環境の素晴らしさが分かって、よい環境を取り戻したいという気持ちに繋がったと思われる。



時能川での魚類調査の様子

3. 川の生き物（主に魚類）を保護する取り組み

- ①アユの稚魚放流観察…九頭竜川中部漁協の協力で10万匹のアユの稚魚放流に立ち合わせていただいた。鮎の一生や習性なども学ぶことができた。
- ②アラレガコ飼育
県立大学：田原氏、若狭高校海洋科学科の新谷氏の協力で、天然記念物のアラレガコを学校の水そうで飼育したり、アラレガコの一生や習性、住みやすい河川環境等について学習したりすることができた。
- ③サクラマス発眼卵観察と飼育…サクラマスレストレーションの安田氏の協力を得て、九頭竜川のサクラマス（稚魚はヤマメ）の飼育と継続観察、サクラマスの一生などについて学んだ。
- ④アユの人工授精と受精卵…九頭竜川中部漁協の協力で、落ちアユ漁（さぎり漁）や落ちアユから採取した卵と精子で人工授精や受精卵を川に沈めてふ化させるなどの体験をすることができた。
- ⑤九頭竜川支流の魚道観察…サクラマスレストレーションの安田氏の協力を得て、河川改修や堰が建設された川に、魚が帰ってこられるように建設された魚道観察を行い、魚を守る様々な活動について話を伺った。



水そう中のアラレガコ飼育

4. 食（魚料理）体験・漁法見学など文化再生の取り組み

- ①アユの食体験…アユで有名な九頭竜川であるが、食べたことがない児童もいて、九頭竜川中部漁協の協力を得て、焼きたてのアユの味を堪能することができた。
- ②アラレガコの食体験…県立大学：田原氏、若狭高校海洋科学科の新谷氏の協力で、養殖されているアラレガコの試食を小学校で初めて行うことができた。昔から美味で知られていたらしいが、実際に食べることでそのおいしさに感動していた。自然の幸の大切さを感じることもできた。



アラレガコを食す

5. 最後に

取り組んだことは、町教育研究会理科部会で紹介し、他校での環境教育の参考としてもらった。今後、伝統的な漁法や料理法などについても調査をし、地域の人々と河川の関わりについて理解を深めていきたい。